

九州周遊 建築散歩

第八回(12月14日)
門司・下関

今年の最後にレトロな建物が多く 残る門司・下関を探索しましょう。

第8回目の「九州周遊建築散歩」は、レトロな建物が建ち並ぶ門司と下関を散歩します。

門司や下関には、明治、大正、昭和初期にかけて国際貿易港として栄えた当時の建物が多く残っていますが、それらの建物はまちづくりの重要な資源として再活用されています。

今回は、今年の締めとして明治期の建築を中心に探索したいと思います。散歩のつもりで気楽に参加してみませんか？



右 : 唐戸市場(池原義郎: 2001)
中央: 旧秋田商会ビル(1915)
下 : 旧下関英国領事館(1906)

北九州市と下関市の近代建築の関係(建築MAP北九州より)

明治22年(1889)の門司開港と同24年の九州鉄道開通によって、門司は筑豊の石炭の積出港として大躍進を始め、港湾都市として下関を圧倒する。その時期からの門司の反映によって、門司には近代の名建築が次々と建てられ、建築の質量で下関に大きく水をあけてしまう。(中略)

しかし、下関が門司に対して唯一優位を誇られる近代建築がある。それが旧秋田商会である。かつては道路一本を隔てて下関の旧港に直面しており、下関の玄関を飾る建築であった。(中略)この秋田商会ただ1棟で、門司の近代建築群の挑戦を請けて立っているとしても過言ではない。

見学予定箇所(下関 門司)

旧秋田商会ビル 唐戸市場
旧下関英国領事館
下関市営白雲台団地
めぐみ幼稚園(旧河村辰治邸)
ロダン美容室(旧リード商会)
下関水上警察署
門司港駅 旧門司税関
旧門司三井倶楽部
ホームリング商会 旧大阪商船
出光美術館(旧三井物産門司支店倉庫)



左上: 門司港駅(1914) 右: 旧門司三井倶楽部(1921)
左下: ホームリング商会(1962)



「九州周遊建築散歩」では次回以降も様々な地域の建築を散歩します。分野や専門にかかわらず建築に興味がある方は是非ご連絡下さい。

連絡先: 北九州大学国際環境工学部N3 3 31(内2397)
代表: D1小川由美子(d3640101@hibikino.ne.jp)
事務局: M1大野敦弘(m3640101@hibikino.ne.jp)

<写真・文章>

建築MAP北九州、ギャラリー・間編、TOTO出版、1998年
九州・沖縄を歩こう!、宮本和義編、エクスナレッジ、2002年
しものせき観光 <http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kanko/index.html>
ARCHITECTURAL MAP <http://www.archi-map.net/>
門司区役所 <http://www.city.kitakyushu.jp/~moji/>
GaZONE <http://csx.jp/~gazone/kensetu/gendai.html>